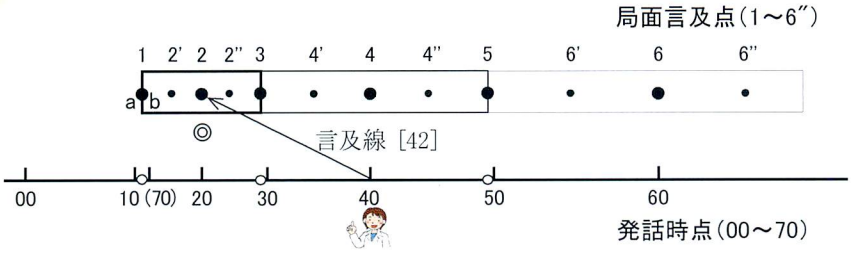
日本語のしくみ (2)

—— 日本語構造伝達文法 T ——

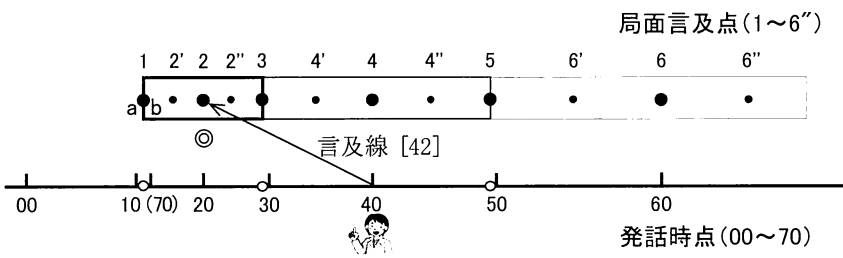


さっき映画を見ていた。[42] (過去・進行中)

今 泉 喜 一

日本語のしくみ（2）

－日本語構造伝達文法 T－



さっき映画を見ていた。[42]（過去・進行中）

今 泉 喜 一

まえがき

本書で扱うこと

本書では日本語の時相（テンス・アスペクト），つまり時間の表し方を扱います。前書『日本語のしくみ(1)』では S1.16 などで，わずか数ページで扱っていたものです。読むのに少し根気が必要かと思いますが，モデル図を用いて論理的に説明してありますので，理解はしやすいはずです。美しさまで感じとっていただければ幸いです。

この文法は「説明文法」ですので，日本語を科学的に研究しようと努めています。

科学的研究

科学的研究では，複雑に見える研究対象から構成要素と規則を見出して，できるだけ単純化し，構造を把握しやすくします。そのためには良い観察用具と仮説的理論が必要です。適切な観察用具と分析理論がないときには，その研究の精度がどの程度のものであるかは容易に推測できます。

日本語の科学的研究

日本語の文法は，物質ではないので，目に見えません。しかし，構造はあります。見えないものを見えるようにするために，日本語構造伝達文法は，工夫してモデルを作りました。構造モデルと時空モデルです(コラムT3参照)。それに基づく理論も導いています。これにより日本語はより精確に分析することができるようになっています。

本書で使用する用具と理論

本書『日本語のしくみ（2）』には時相研究に役立つ，以下のような用具・関連理論類が載せてあります。(本書は動詞が中心で，形容詞は後日の扱いとなります。)

★ **局面図** (T1.2)
事象にはどのような局面があるのか，また，動詞のとっている形がどの局面を表しているのかを知るのに役立ちます。

★ **時と局面の2桁数字表示法 （2桁時相図）** (T1.4)
どの発話時点からどの局面に言及しているのかを簡潔に表示できます。

★ **事象の構成要素表示法** (T2.1)
事象の構成要素の表示に役立ち，「ている」の意味が把握しやすくなります。

★ **絶対時と相対時の表示法** (T3.2)　**その一覧表** (T3.5)
従属節と主文の2事象の時間関係が把握しやすくなります。

★ **4種類の時間表示法** (T4.1)
個々の時間関係が，固定観念にとらわれず柔軟に把握できるようになります。

★ **否定の表示法** (T5.1)
事象の時空における否定が表示できます。(構造上の否定はS1.11 を参照。)

練習問題

多くのページの下部にある問題に答えてみてください。その章節で扱われている事項について理解を深めることができるものと思います。念のため解答例も示してありますので参考にしてください。

参照箇所

各節の先頭ページなどの右肩に，参照箇所が示してあります。参照箇所には本書より詳しい記述がなされていることもありますので，参照いただければ幸いです。その参照箇所の記号については次をご覧ください。

参照表示の記号

「日本語構造伝達文法」には6冊の本があります。その6冊の中の特定の章節を参照する必要があるときは，次のような記号を使って表示します。(⑤⑥は入門書です。)

①『日本語構造伝達文法』の中の章節…『文法』3.1 あるいは単に 3.1 ／3章
②『日本語構造伝達文法 発展A』の中の章節… A 3.1 のように「A」が付きます。
③『日本語構造伝達文法 発展B』の中の章節… B 3.1 のように「B」が付きます。
④『日本語構造伝達文法 発展C』の中の章節… C 3.1 のように「C」が付きます。

入門書

⑤『日本語のしくみ (1) －日本語構造伝達文法 S－』の章節…「S」が付きます。
⑥『日本語のしくみ (2) －日本語構造伝達文法 T－』(本書)…「T」が付きます。

ホームページ

「日本語構造伝達文法」はホームページでも情報発信を行っています。このサイトは簡単に「ニコデブ」(**日**本語**構**造**伝**達**文**法の略)で検索することができます。

http://www012.upp.so-net.ne.jp/nikodebu/

このサイトでは『日本語構造伝達文法』,『日本語構造伝達文法 発展A』が読めるようになっているほか，「不思議ノート」があり，また，授業教材の形でかなりの部分がPDFとパワーポイント(アニメーション活用)で掲載してあります。

研究会

小さな研究会ですが，JR八王子駅近くで月1回開いています。研究会の日時，場所等の案内はホームページにあります。関心のある方はお気軽にご参加ください。

2016 年 10 月
今泉 喜一

目　次

まえがき　i
日本語構造伝達文法の歌　vi

T1章　時と局面　(テンスとアスペクト)　……　1
T1.1　時のモデル化　(2)
時をどう捉えるか　(2)
時のモデル　(4)
T1.2　事象を局面で捉える……事象の局面図　(6)
事象を非局面で捉える　(7)
2とおりの局面図　(8)
事象の枠は伸縮自在　／　「事象」とは　(8)
事象の時間的「長さ」はさまざま　(9)
1日の生活で関わる事象はいくつある？　(9)
T1.3　時と局面の組合せ　(10)
局面　(10)
時と局面の組合せ　(10)
T1.4　時と局面の組合せを2桁数で表す　(12)
時と局面の組合せを1つの図で表示　(12)
言及線　(12)
局面の変わり目に正確な現在はない　(13)
時相基本モデル　(14)
組合せのすべて　(14)
「着物を着ている」の表す多数の時間的状況　(16)
T1.5　タ　(18)
タの構成はテ・アル　(18)
タ……局面変化完了認知基　(19)
完了のタ，開始のタ　(20)
タへの返答　(21)
名詞を修飾する「ている」と同じ「た」　(22)
過去では100以外でもふつうにタを使う　(23)
その他のタ　(24)
T1.6　過去・非過去　(25)
3種類の現在　(25)

T2章　事象と局面表示 …… 29
T2.1　事象の構成要素による分類 (30)
T2.2　それぞれの事象 (32)
事象1 (32)
事象2，事象3 (33)
事象4 (34)
事象5 (35)
事象6 (36)
T2.3　局面表示を補助する動詞 (38)
(1) 局面そのものを表す動詞 (38)
(2) 開始後の存在を表す動詞 (39)
(3) 完了後の準備完了的存在を表す動詞 (39)
(4) 特定時を基準とする時間方向を表す動詞 (40)
(5) 完了に伴う心理を表す動詞 (41)
T2.4　局面表示の対立 (42)

T3章　絶対時と相対時（絶対テンスと相対テンス）…… 43
T3.1　2つの基準点 (44)
(1) 絶対時表示……発話時点が基準点 (44)
(2) 相対時表示……(従属節で)主文事象生起時点が基準点 (45)
T3.2　絶対時と相対時（絶対テンスと相対テンス） (46)
絶対時 (46)
相対時 (47)
T3.3　従属節事象を相対時のみで捉える (48)
(1) 主文の絶対時を過去に固定 (48)
(2) 主文の絶対時を現在に固定 (49)
(3) 主文の絶対時を未来に固定 (50)
T3.4　従属節事象を絶対時でも捉える (51)
(1) 主文の絶対時を過去に固定 (51)
(2) 主文の絶対時を現在に固定 (52)
(3) 主文の絶対時を未来に固定 (53)
T3.5　絶対・相対時相表 (54)
T3.6　まえ・あと・とき (56)
まえ(に) (56)
あと(で) (57)
とき(に) (58)
T3.7　絶対時？　相対時？ (60)

T4章　4種類の時間表現 …… 61
T4.1　時間表現には4種類ある (62)
(1) 有時相表現……時と相の両方が現れる (63)
(2) 時のみ表現……時相の「時」のみが現れる (66)
(3) 相のみ表現……時相の「相」のみが現れる (68)
(4) 無時相表現……時と相のどちらも現れない (70)
T4.2　3つ以上の事象の時間関係 (72)
疑似絶対テンス (73)
T4.3　なぜ4種類の時間表現があるのか (74)

T5章　時間の否定 …… 75
T5.1　否定は時空をカラにする (76)
T5.2　時間的否定 (77)
T5.3　「している」の否定 (78)
T5.4　過去を表す未来形・現在形 (79)
T5.5　「ご飯食べた？」への否定回答 (80)

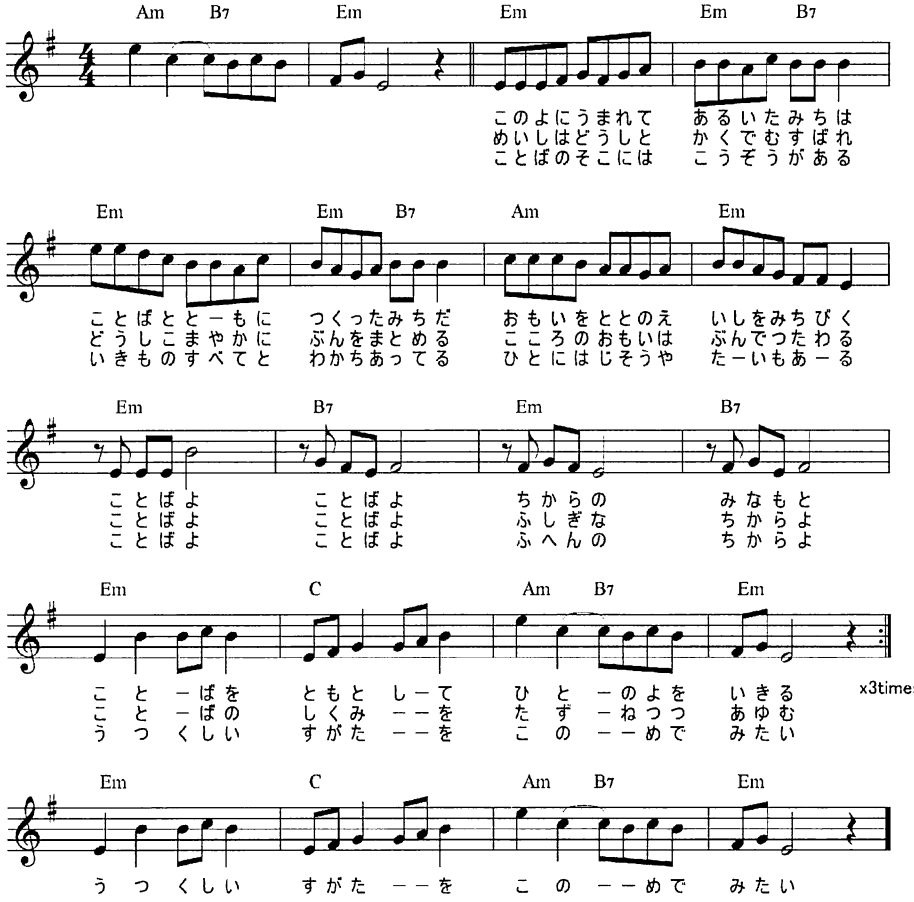
質問の解答例 …… 85
T1章の質問解答例 (86)
T2章の質問解答例 (94)
T3章の質問解答例 (98)
T4章の質問解答例 (103)
T5章の質問解答例 (105)

あとがき (107)

コラム目次

コラムT1　詞と語，みかけの詞と語 (26)
コラムT2　スペイン語の文法は間違い？ (28)
コラムT3　日本語構造伝達文法のモデル (82)
コラムT4　5＋3＝8 を構造図で表せる？ (83)
コラムT5　否定とうそ（肯定・否定／ほんとう・うそ） (84)

日本語構造伝達文法の歌

作詞・作曲　今泉喜一
助言　澁谷郁代

1　この世に生まれて 歩いた道は
ことばと共に 創った道だ
思いを整え 意志を導く
ことばよ ことばよ 力のみなもと
ことばを友として 人の世を生きる

2　名詞は動詞と 格で結ばれ
動詞細やかに 文をまとめる
こころの思いは 文で伝わる
ことばよ ことばよ 不思議な力よ
ことばのしくみを 尋ねつつ歩む

3　ことばの底には 構造がある
生き物すべてと 分かち合ってる
人には時相や 態もある
ことばよ ことばよ 普遍の力よ
美しい姿を この目で見たい

美しい姿を この目で見たい